

安全対策について

人形峠センターでは、施設のより一層の安全を確保するため、高経年化対策、耐震化対策及び自然災害対策を行っています。その一例を紹介いたします。

○高経年化対策

施設の経過年数、現在の状況、故障した際の影響等を評価して優先順位を決めて、補修工事や機器の更新等を行っています。



製錬転換施設屋上の防水工事



特高受変電設備避雷器更新

○耐震化対策

現在の耐震基準を満足するように計画的に、耐震設計及び補強工事を行っています。



電気の受変電設備が入っている共通施設棟の耐震改修設計

鏡野町総合文化施設ペスタロッチ館が、改修工事で令和4年10月から令和5年1月中旬まで休止されることから、その間「サテライトオフィスふらっと」も臨時休館とさせていただきます。期間中のお問い合わせ先や開催するイベント等についてはHPでお知らせいたします。

お問い合わせ先：人形峠環境技術センター総務課

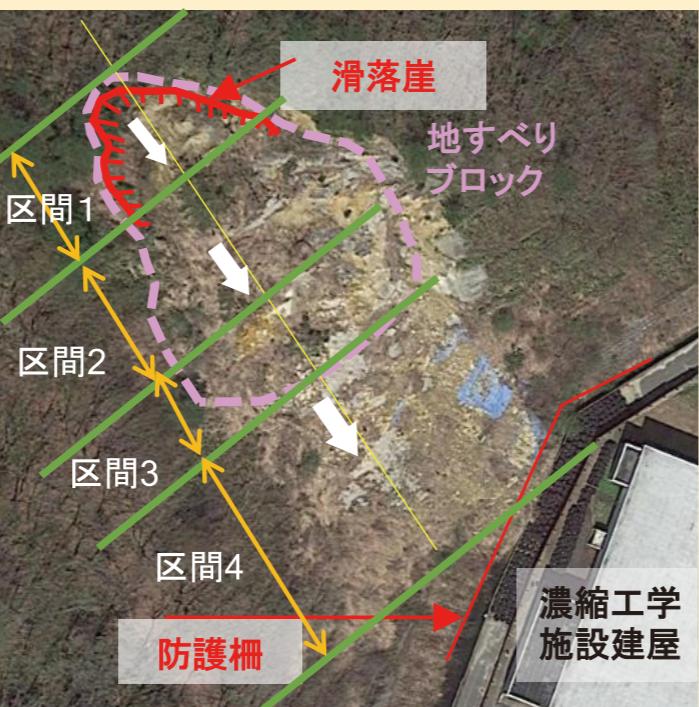
TEL.0868-44-2211（代表）

URL <https://www.jaea.go.jp/04/zningyo/>

○自然災害対策

平成28年9月の大雪で発生した、濃縮工学施設の西側法面の地すべりについて、防護柵を設置して安全を確保した上で、恒久的な対策工事を行っています。

工事は、鉄筋やアンカーの挿入、水抜きボーリング孔の設置や植生を施します。4つの区間に分け実施する予定で、令和4年度は最上部である区間1の工事を行っています。



サテライトオフィスふらっとの 臨時休館について



人形峠環境技術センターからの お知らせ (vol.14) 【環境放射線の状況 編】

いま、人形峠環境技術センターでどのような業務を行っているのか、よく分からぬという声をいただきます。このため鏡野町さんのご協力をいただき、不定期ではありますが、「お知らせ」として人形峠センターの状況をお伝えさせていただきます。

第14回目は、人形峠センター周辺の環境放射線の監視・測定の取り組みをお知らせいたします。



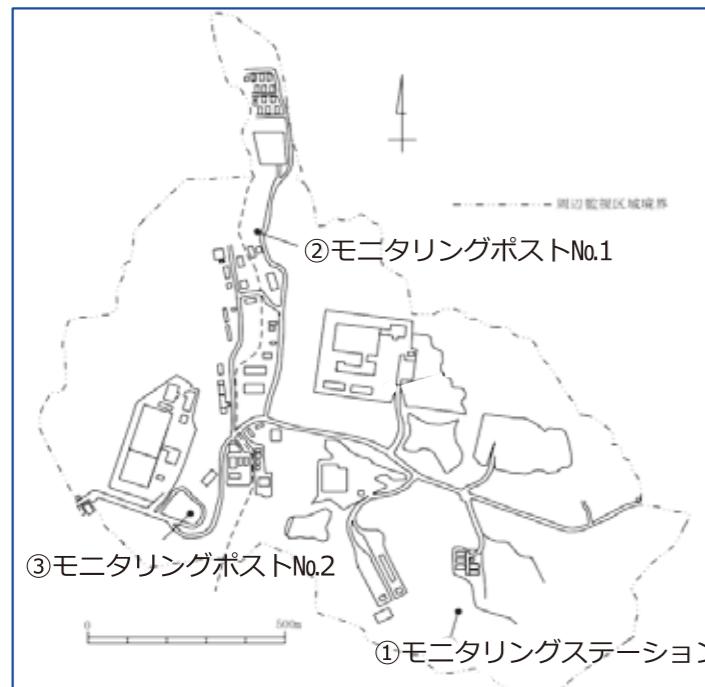
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
核燃料・バックエンド研究開発部門
人形峠環境技術センター

人形峠センター周辺の環境放射線の状況について

人形峠センターでは、周辺環境の安全を確保するため、施設及び周辺環境中の放射線を、常時、監視・測定しています。今回はその取組みについてご紹介いたします。

放射線の監視及びサンプリング測定

人形峠センターでは、放射性物質を扱う施設内に設置された排気監視設備（排気モニタといいます）により、排気中の放射性物質濃度を24時間監視しています。敷地内においても、放射線測定設備（モニタリングステーション等）を3ヶ所設置し、施設からの放射性物質の放出により、施設周辺の放射線量が上昇していないことを24時間監視しています。



人形峠センター内の放射線測定設備
(原子力事業者防災業務計画より抜粋)



モニタリングポスト



モニタリングステーション

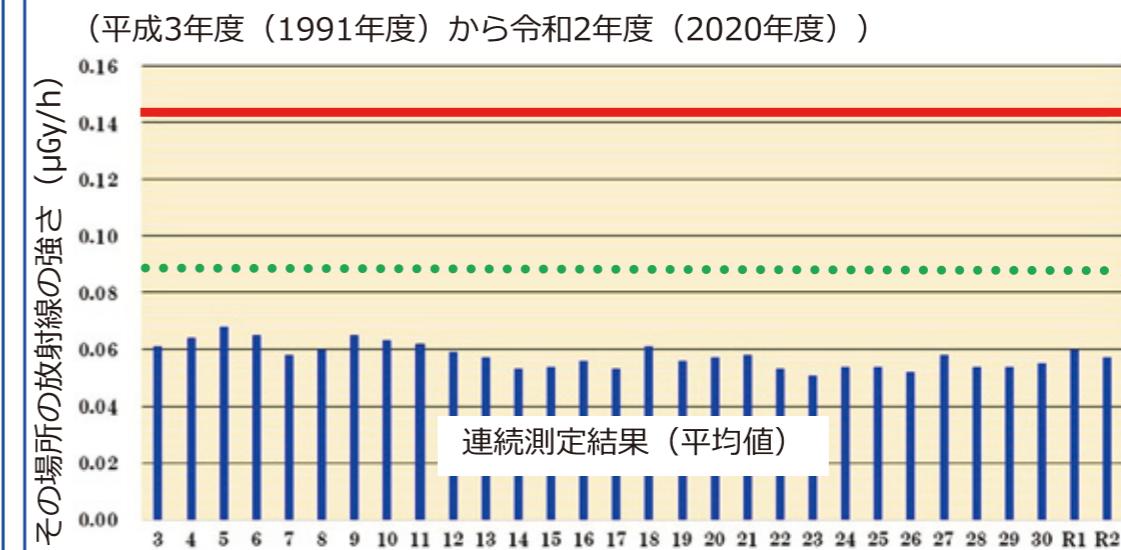


モニタリングカーによる測定 河川水等のサンプリング

採取したサンプル中の放射線物質の分析

これらの測定を継続して行うことで、施設からの排気、排水が周辺環境へ影響を与えていないことを確認しています。

人形峠空間の放射線の強さ（年平均）の推移



※測定データは「岡山県環境白書（令和3年度版）」から引用しています。

法令で決められている値や管理目標値（岡山県及び鏡野町と締結している環境保全協定で定めた値）よりも低い値で管理しています。

放射線の測定結果は、定期的に自治体等へ報告するとともに、公表しています。これまで、測定値に異常は観測されていません。

- 測定した結果は、定期的に自治体（岡山県及び鏡野町）等に報告、公表しています。
- 岡山県においても独自に環境放射線の測定・監視を行っており、人形峠センターからの報告とともに、毎年2回程度、岡山県が開催する「環境放射線等測定技術委員会」で報告・評価がなされています。同委員会においては、これまでの測定結果の変動は施設からの影響ではなく自然環境からの変動の範囲内であり異常は認められないと評価されています。

環境放射線量については、ホームページで確認いただけます



人形峠センターのトップページ「リアルタイム放射線モニタリング情報」をクリックいただくと、放射線量をご覧いただけます。

岡山県のホームページにおいても、岡山県が測定した放射線量をご覧いただけます。

